

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2023.10.2
作成 高齢者支援センター	町田第3
作成者	田中一恵

1.開催日時	2023.9.25	2023.9.25	19:00	～	20:30
2.会場	特別養護老人ホームコモンス1階ひろば				
3.主催センター	町田1	町田2	町田3		
4.参加人数	21名				
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター 7人		<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター 1人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者 9人 (うち、医師 2人)		<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者 2人		
	<input type="checkbox"/> 民生委員 人	<input type="checkbox"/> 老人会 人	<input type="checkbox"/> 住民 人		
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会 人	<input type="checkbox"/> 警察 人	<input type="checkbox"/> 行政 人		
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (薬科大学地域医療部門 教授・助教授 2名)				
6.開催テーマ	フレイル予防啓発リーフレットの活用に向けて				
7.地域課題	<p>(1)課題設定の背景</p> <p>約3年に及ぶ新型コロナウイルス感染症の長期流行に起因する、外出自粛や地域活動の縮小、また社会生活が回復する段階で現在進行しているフレイルについて、フレイルについての正しい理解・フレイル予防の啓発を強化する必要がある。</p> <p>一部の健康増進への関心層のみが参加する、あるいはハイリスク高齢者のみが対象・参加ではなく、地域の誰もがフレイルを知り自ら予防や支援に取り組むことができる地域社会全体へのヘルスマーシェン(人々が自らの健康をコントロールし改善できるようにするプロセス)が必要である。</p> <p>(2)検討した地域課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「フレイル」についての重要性を、市民に広く周知するために必要な機会構築が充分になされていない。 ・高齢者本人だけでなく、家族も含めて繰り返し理解と促進が充分にされていない。 ・本人の状態に応じた取り組みを行うためには、多職種が正しい知識を身につけ、連携して取り組むことが充分にされていない。 ・社会参加を促進する為の地域との協働が充分にされていない。 				
8.会議の内容	<p>①町田圏域推進会議の振り返りと目的の再確認。</p> <p>②2023年9月に各事業所・団体に広域に向けて行ったフレイル予防の取組について情報共有。(柔道整復師会・健ナビ薬樹薬局成瀬・まち2フェス)</p> <p>③町田圏域フレイル予防 普及啓発イベント企画(案)をもとに、具体的な内容を検討。</p> <p>町田圏域での地域のありたい姿【健康な生活を営みながら、望む生活を選択できる地域】を達成するため、市民に向けてフレイル予防リーフレットを活用し各専門職が継続的に伝えていく・地域の高齢者自らフレイル予防に取り組む健康増進を図っていく必要があり課題でもある。また、取組の見える化や実感できる評価指標を設定することで、モチベーションアップと取組の継続に繋げていく事も併せて必要である事を確認。</p>				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<ul style="list-style-type: none"> ・上記会議の内容を踏まえ、各専門職がフレイル予防リーフレットを活用し市民に伝えられるようにするため、試行策として企画会メンバーで60日間トライアルを行い、その取組内容について今年度予定している拡大会議で報告し参加する専門職に取り組むやすい形を提案する。 また地域の高齢者自ら取り組めるための手段やモチベーションを保つために試験的に、おくすり手帳カバーに閉じこめるサイズの評価表を作成し常時携帯して頂きながら参加者自身のフレイル予防に対するの当事者意識を持って頂くように展開を図る。 				
10.その他					

医療と介護の連携支援センター 確認日	2023年10月3日
--------------------	------------